

根拠

○生徒の声を大切に。チームで授業改善していく。主体的・対話的に学ぶ学びが実現。授業プランを実践している。  
○生徒一人ひとりに主体的理解を（しかも授業プランを進めていくことが大切）

学校

A2主の授業

授業の中でなかなか課題にこたえない生徒がいる

A2主の気づき

みんなが参加できて「やってみよう」と思える授業をめざしたい。

令和5年度 研究主題  
教科の指導と生徒指導の一体化へ生徒指導の視点の授業プランの刷新が生徒と有らへ

タブレットを活用し、みんなでお話しを共有し、教員合う姿があった。

学び合い、教員合い、かちとしたりの中で定着しつつある。中心としてやるべきこと何がある？

みんなが安心して、みんなが学び合える授業は、やっぱり難しい。みんなが安心して学ぶために、授業プランを改善しよう。

公開授業をやってみて、他教科の先生からいっしょにはらつた視点のアドバイスをもらえた。

みんなが「やってみよう」と思える課題の設定の難しさ。子どもたち一人ひとりの声は、先生に届くようにしたい。

生徒一人ひとりに丁寧に見て、主体的理解をしていく。授業プランを工夫して、みんなの声を大切にしたい。

◎授業と生徒指導は両輪で進めよう

◎子どもたちがみんな学校が好き

8月までの取組の成果  
○先生方もみんなが校内研究の大切さを理解し、校内研究に活発に取り組んでいらっしゃる。  
○ベテランの先生から日ごろ生徒支援や授業プラン大いにしていることと若手の先生に伝える良い機会に、校内研究がなっている。



学校教育目標  
自らと向き、居場所や仲間、地域をつなぐ学び、初めから未来を共に進んでいく生徒の育成

目指す児童生徒の姿  
○自己肯定感と意欲があること  
○他者と協働していること  
○柔軟な考えや行動ができること

校内研究の流れ

G-OJTの進捗

第1回校内研究会  
学校教育目標の振り返り、生徒の声を聴く。グループワーク。個人での振り返り。  
2023.05.27

授業公開週間①  
各グループの中で1人か2人、授業を公開。グループ発表。授業を参観。  
2023.06.05 ~ 06.11

第2回校内研究会  
公開授業の振り返り。各グループ発表。グループワーク。生徒の振り返り。  
2023.06.14

生徒授業評価アンケート実施  
生徒一人ひとりの声に、各教科の授業の改善点と生徒の声を聞く。  
2023.07.06

第3回校内研究会  
生徒授業評価アンケート結果の振り返り。各グループ発表。生徒の振り返り。  
2023.07.27

本校の現状と課題  
生徒一人ひとりに主体的理解を個別最適で実現していくこと  
先生も先生方も、子どもたちの見守り支援。声かけの中心。全員が参加できる授業へ

生徒指導の視点から、主体的理解を促す授業プランの刷新

SWOT分析  
強み  
○教員は生徒一人ひとりに目を配ることができる。  
○先生方も先生方も、子どもたちの見守り支援の中心。全員が参加できる授業へ

校内研究と自分事として  
日々の授業に、校内研究で学んだこととつながり、子どもたちの成長を促す。

1学期とつなげたこと  
先生一人ひとりが、自分の授業経験と、授業プランの改善点として、校内研究の成果を踏まえて、日々の授業に活かす。

夏休みの研修会  
◎生徒一人ひとりの授業プラン  
◎非正規教員の授業プラン  
◎ツールは学校教育目標へ



5月2日  
プロジェクト研究会①

5月22日  
プロジェクト研究会②  
パワーアップ研修①

7月7日  
プロジェクト研究会③

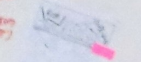
8月3日  
プロジェクト研究会④  
パワーアップ研修②

8月22日  
プロジェクト研究会⑤

課題と9月以降の取組  
○個人のテーマ、グループのテーマより掘り下げて、授業プランを深めていく。

○生徒がみんな中心にして、生徒が輝く授業プランへ。

光輝け、



生徒一人ひとりが輝く授業プランへ